

第3章 全体目標と分野別目標

「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す」を本計画の全体目標として掲げ、計画期間中における分野別目標として以下の3つの柱を設定します。

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

- がんに関する知識やがんを予防する方法について普及啓発し、がんの罹患率（年齢調整罹患率）の減少を図ります。特に、子宮頸がんなど全国と比較して罹患率の高いがんについて、減少に向けた取組を推進します。
- 全ての県民ががん検診を受診しやすい体制を構築し、がんの早期発見・早期治療を促すことで、がんによる死亡率（75歳未満年齢調整死亡率）の減少を図ります。

2 患者本位で持続可能ながん医療の提供

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

- がん医療の質の向上や、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化又は集約化により、がん生存率の向上とがんによる死亡率の減少を図ります。
- 支持療法や緩和ケアが適切に提供される体制を整備することで、全てのがん患者とその家族等の療養生活の質の向上を図ります。

3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

- がん患者やその家族等が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境を整備します。
- 医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等、関係機関が連携し、効率的な医療・福祉・保健サービスの提供や、就労・教育支援等を行う仕組みを構築することで、全てのがん患者が、いつでもどこにいても、安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会の実現を図ります。